

## 安全データシート

制定日：2022年3月

---

1. 製品及び会社情報

製品名 : Bilirubin  
SDSNo. : SDS040(R3)  
法人名 : 一般社団法人 検査医学標準物質機構  
住所 : 神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町 1050-35  
電話番号 : (045)530-9107  
FAX : (045)530-9036

---

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類  
物理化学的危険性：該当区分なし  
健康に対する有害性：該当区分なし  
環境に対する有害性：該当区分なし  
ラベル要素  
絵表示又はシンボル：なし  
注意喚起語：なし  
危険有害性情報：なし  
注意書き：なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質  
成分名：ビリルビン  
化審番号 : (9)-1051  
CASNo. : 635-65-4  
化学式 : 約 0.3~3.2%  
安衛法 : 公表化学物質

---

## 4. 応急措置

目に入った場合：直ちに水道水で十分洗眼し、異常があれば医師の手当てを受ける。  
皮膚に付着した場合：付着部又は接触部を多量の水道水でよく洗浄する。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受ける。  
飲み込んだ場合：水道水でよく口の中を繰り返し十分にすすぐ。気分が悪い時は、医師の診断、手当をうける。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息する。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受ける。

---

## 5. 火災時の措置

消火方法：消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な一般火災に準ずる。  
消火剤：粉末、泡、水、二酸化炭素  
火災時の特定危険有害性：燃焼や高温により分解し、ヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

---

## 6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項：ビリルビンが排水路に排出されないように注意する。  
封じ込め及び浄化の方法：粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

---

---

**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い：皮膚、眼および衣類との接触を避ける。  
取扱いは換気のよい場所で行う。  
適切な保護具を着用する。  
粉塵が飛散しないように注意する。  
取扱い後は手や顔などをよく洗う。  
保管：容器を密栓して冷凍庫（-20℃）で保管する。  
避けるべき保管条件：熱、光  
安全な容器包装材料：法令に従う。

---

**8. ばく露防止措置及び保護具**

設備対策：

保護眼鏡：要  
保護手袋：要  
保護衣：要

---

**9. 物理的及び化学的性質**

外観等：無色透明の液体

---

**10. 安定性及び反応性**

常温、常圧では引火性、発火性、可燃性、爆発性など無い。

---

**11. 有害性情報**

多量に経口摂取すると消化器を強く刺激し、高ナトリウム血症、浮腫などを起こすことがある。

---

**12. 環境影響情報**

当該製品の環境影響のデータはない。

---

**13. 廃棄上の注意**

廃棄物に関する規定に従って産業廃棄物として廃棄する。

---

**14. 輸送上の注意**

転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、粗暴な取扱いをしない。

---

**15. 適用法令**

毒劇法：非該当  
化管法：非該当  
安衛法：非該当  
消防法：非該当

---

**16. その他の情報**

この安全データシートは調査して記しましたが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。